

生態系ネットワーク協議会の取組



あいち生物多様性戦略2020推進委員会
副委員長 武田穰

2016.02.20-21 にじゅうまるCOP2 無断転用禁止

写真：木曽川の対岸から
愛知の都市部を臨む

あいち生物多様性戦略 2020



生態系ネットワーク協議会の県内展開

県内を生態系の特徴や行政域などを考慮して、9つの地域で展開

尾張北部(15団体)
《テーマ》
《うらやま》の豊かな
自然を再発見しよう

西三河(28団体)
《テーマ》
最先端のものづくりと最先端のエコロジ
ーが好循環する暮らしを目指して

新城設楽(18団体)
《テーマ》
樹を活かす、地域を活かす、
森のちからと人の営みが調
和する奥三河

(尾張南部)

東部丘陵(35団体)
《テーマ》
23大学が先導する、
ギフチョウやトンボの
舞うまちづくり

知多半島(36団体)
《テーマ》
ごんぎつねと住める
知多半島を創ろう

東三河(24団体)
《テーマ》
穂の国いきものがたり子
どもたちへ
水と緑でつなげよう

渥美半島(36団体)
《テーマ》
海と大地の恵みを活かし、
人と自然を未来につなぐ
渥美半島の創造

西三河南部(25団体)
《テーマ》
きらきら光る碧い海～西三河沿
岸が育む生きものたちのつながり～

● 協議会設立済み
● 今後、設立

知多半島地域

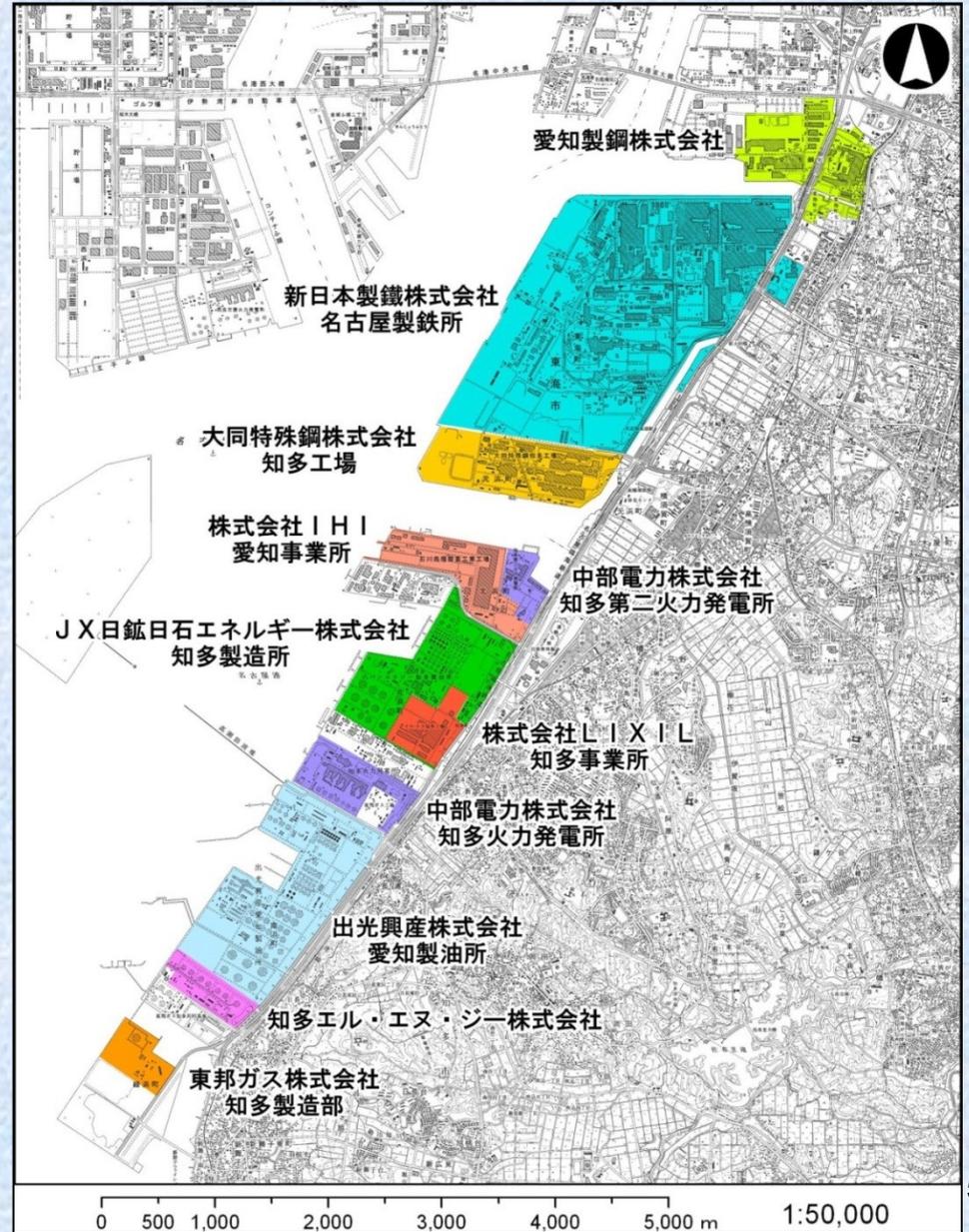


■ テーマ

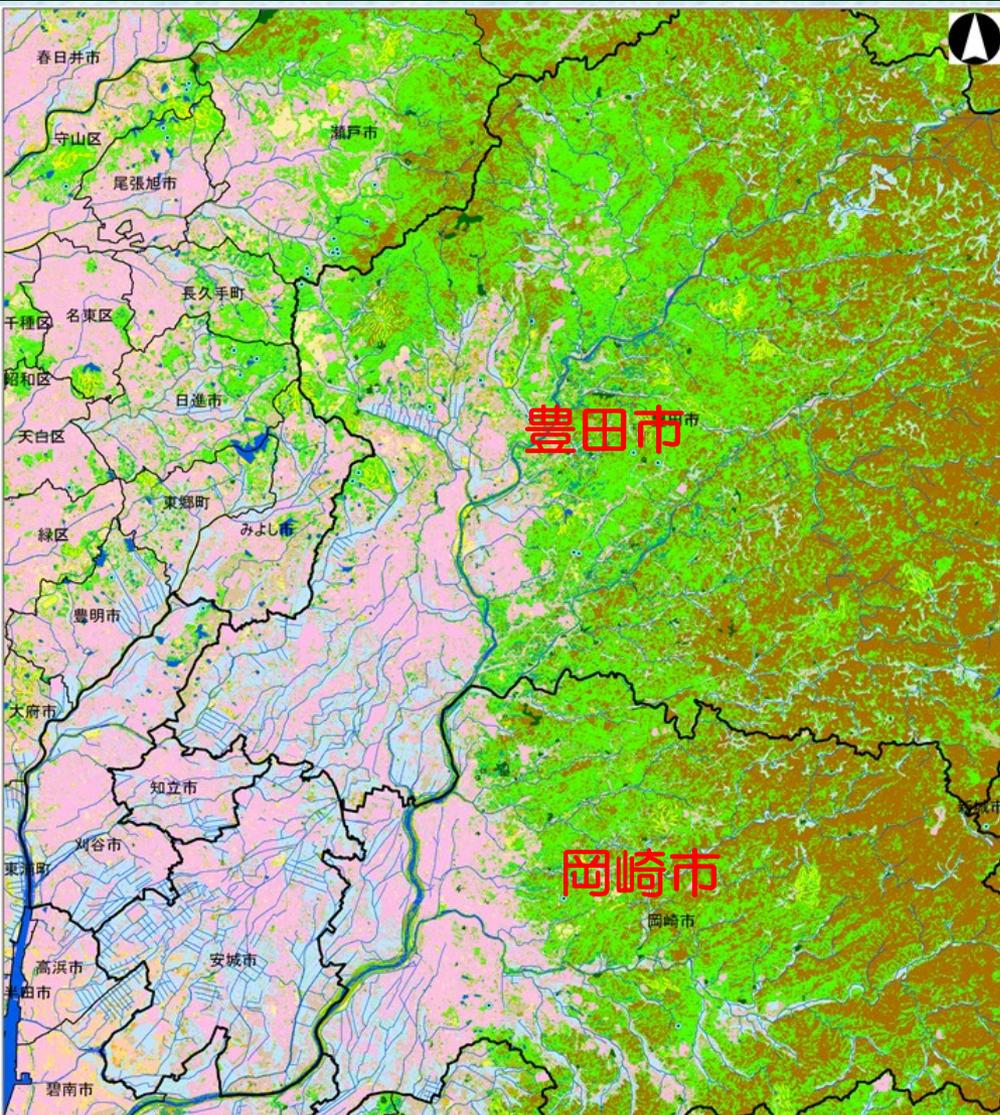
「ごんぎつねと住める
知多半島を創ろう」



知多半島臨海部の連携企業群



西三河地域

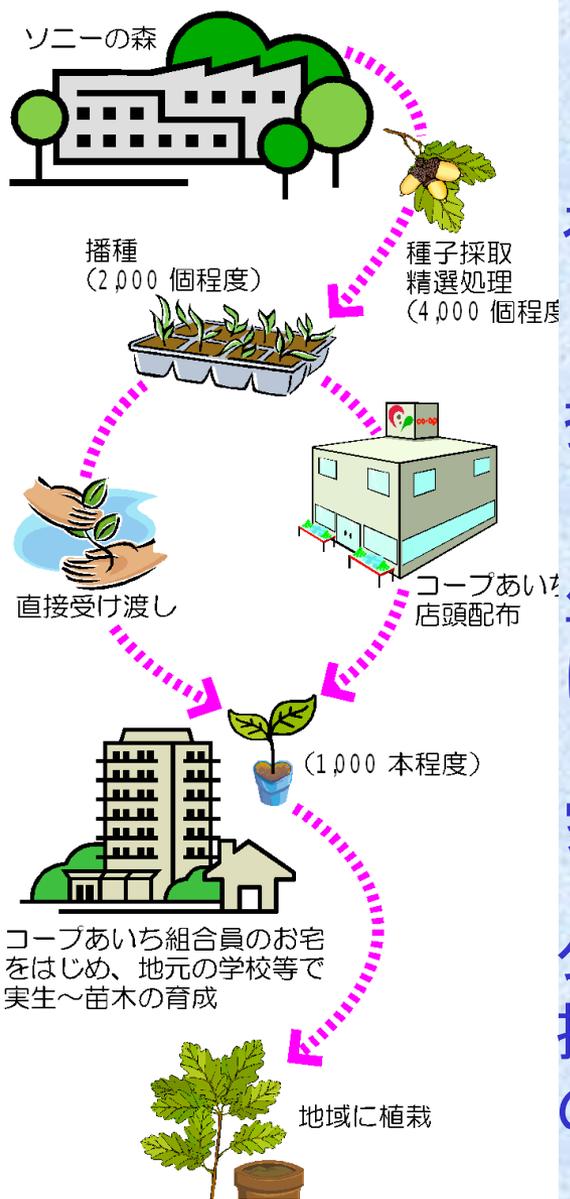


■ テーマ

「最先端のものづくりと最先端のエコロジーが好循環する暮らしを目指して」



地域住民が家庭で在来種の苗木を育てるプロジェクト



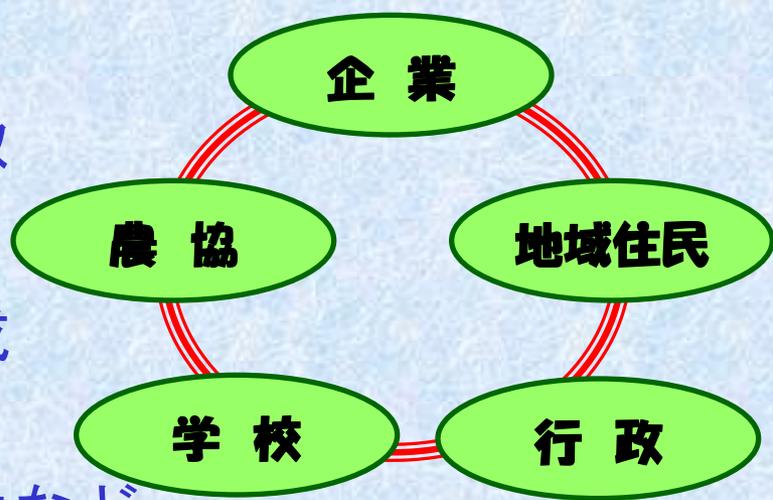
在来種の種子を採取

播種して苗木を育成

生協組合員や小学生などに苗木配布

家庭や学校で育成

公共事業や開発事業に提供し、生物生息生育地の再生・創出に活用



今後に向けて

取組を県内全域で展開



協議会の取組の成果を共有化し
取組をさらに発展



「人と自然が共生するあいち」の実現へ

御^ご連^{れん}聴^{てい}ありがとうございました。